

「北海道新幹線、羊蹄トンネル(有島)他」工事における コンクリート品質管理試験結果の虚偽報告について

「北海道新幹線、羊蹄トンネル(有島)他」工事において、受注者が本来実施すべき品質管理試験を実施していないにもかかわらず、試験結果の虚偽報告を行っていた事実を確認いたしましたのでお知らせします。

現在、鉄道・運輸機構では、北海道新幹線（新函館北斗～札幌間）の工事を鋭意進めているところですが、熊谷・不動テトラ・宮坂・橋本川島 特定建設工事共同企業体（以下、「熊谷JV」）が受注している「北海道新幹線、羊蹄トンネル(有島)他」工事において、コンクリートの打設時におけるコンクリートの品質管理試験（単位水量試験およびスランプ試験）の結果について、熊谷JVが虚偽報告を行っていたことを当機構において確認いたしました。本件不正の内容については、熊谷組が公表しているとおりです（※）。

当機構は、本件不正の報告を4月24日に熊谷JVより受け、その後、事実関係等の調査を熊谷JVに指示し、本日、その後の調査状況等について改めて報告を受けたところですが、このような不正が発生したことは誠に遺憾です。

当機構としましては、他の工区でも同様の事案が発生していないかを確認するとともに、本件不正に関する情報を他の工区にも展開し、注意喚起を行ったところです。二度とこのような不正が生じないよう、施工監理を徹底してまいります。

なお、本件不正に伴う本トンネル構造物の品質や工程への影響については、現在も引き続き調査を進めているところです。また、熊谷JVへの対応については、調査結果等を踏まえ、今後検討してまいります。

○虚偽のあった品質管理試験

- ・コンクリートの単位水量試験(コンクリート1m³に含まれる水分量を測定する試験)
- ・スランプ試験(固まる前のコンクリートの流動性等を測定する試験)

○虚偽の内容

- ・単位水量試験 コンクリート打設前に1回、打設開始後は50m³毎に試験するところ、実際に試験したのは打設前の1回のみで、所定の頻度で試験を実施したと報告
- ・スランプ試験 トンネルのブロック毎に3か所で試験するところ、実際に試験したのは1か所で、所定の箇所数で試験を実施したと報告

○対象の構造物

- ・覆工コンクリート及び下部コンクリート(二次) (別添図参照)

(確認に至る経緯)

- ・2022.10.22 受注者がコンクリート単位水量試験の虚偽報告を開始
- ・2023. 4.17 受注者がスランプ試験の虚偽報告を開始
- ・2023. 4.20 当機構の現場立会において虚偽報告に気付き、事実関係を報告するよう熊谷JVに指示
- ・2023. 4.24 熊谷JVより本件不正に関する報告。更なる調査を指示。

(※)熊谷組 公表HP(参照)

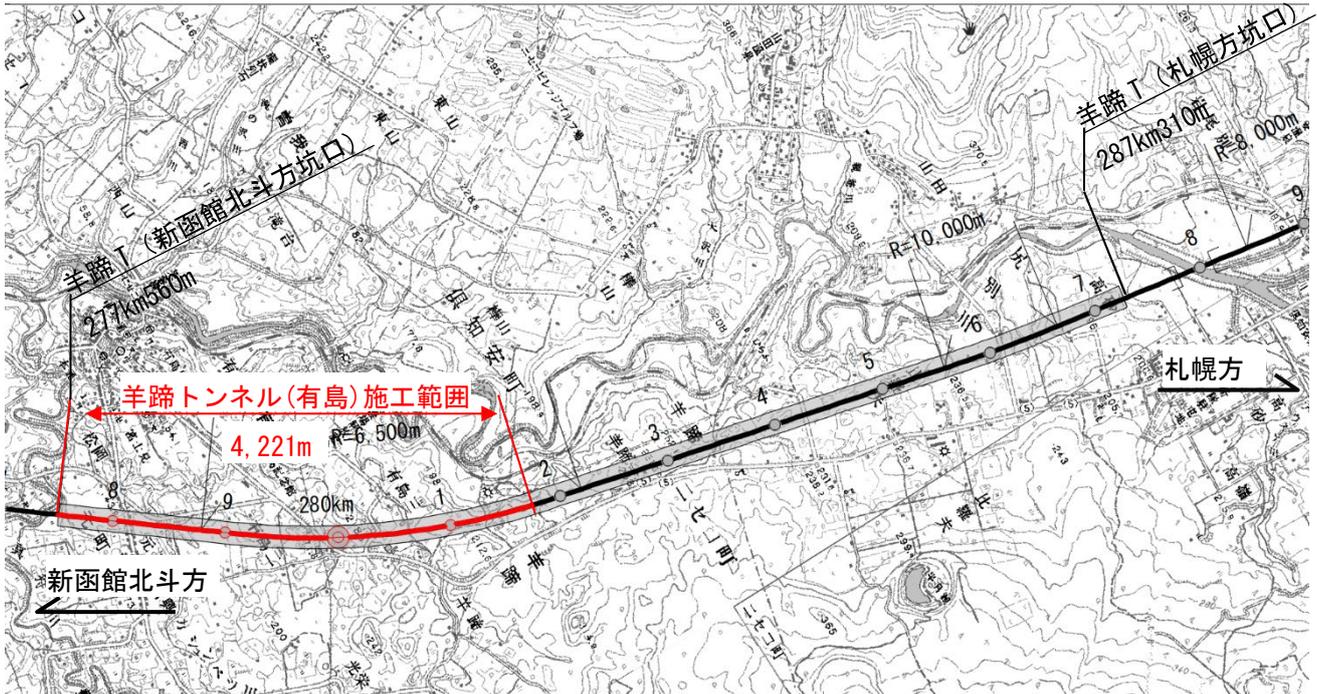
<https://www.kumagaigumi.co.jp/news/index.html>

<本件に関するお問合せ先>
北海道新幹線建設局 広報・渉外課
TEL 011-231-3456

トンネル位置図



位置平面図



虚偽報告の対象となったコンクリート構造物

